EndNote スタイル設定：特別な意味を持つ記号（1）

編集画面内に表示される記号には特別な意味を持つ記号があります。

- 小さい中点 [·]：半角スペースを視覚化したもの。**前後の文字列の関連性を絶つ**
  ※Mac の EndNote 20 以上のバージョンでは表示されません

- 中丸 [◦]：半角スペースとして出力されるが、**前後の関連性を絶たない**

  例：p.◦Pages と入力した場合、”p.” とページ情報の間に半角スペースが入るが、
  EndNote に保存されている文献情報に “Pages” の情報がない場合、”p.” も出力されなくなる

  入力方法：画面上部の [Insert Field] から [Link Adjacent Text] を選択

- 垂直線 [|]：前後の項目が半角スペースを含まずに出力されるが、**前後の関連性を絶つ**

  例：Volume|(Issue) と入力した場合、”Volume” と “(Issue)” の項目は連続して
  出力されるが、EndNote に保存されている文献情報に ”Issue” の情報がない場合でも、
  ”Volume” の情報は出力される

  入力方法：画面上部の [Insert Field] から [Forced Separation] を選択、
  またはキーボードの [Shift] + [¥] を入力

EndNote スタイル設定：特別な意味を持つ記号（2）

- カレット［^］：前後の情報が単数形のときと複数形のときとで出力する文字列を変更したい場合に使用

  例：Editor◦ed^eds と入力した場合、編集者が一人の場合は “ed” が、
  編集者が複数人の場合は “eds” が出力される

  入力方法：画面上部の［Insert Field］から［Single/Plural］を選択、
  またはキーボードの［^］を入力

- アクサングラーブ［`］：文字列を挟むことで、同名のフィールドがあった場合でも挟んだ文字列のまま出力できる

  例：`DOI`:◦DOI と入力した場合、前半の DOI はそのまま DOI と出力され、
  後半の DOI は「文献の DOI 情報」に変換して出力される

  入力方法：［Shift］＋［@］を入力

- 矢印［➡］：インデントを視覚化したもの。**前後の文字列の関連性を絶つ**

  入力方法：画面上部の［Insert Field］から［Tab］を選択

USACO
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE